

2. 公共交通機関の施設

公共交通機関の施設の項目では暫定的に事業規模を抑えた事例ではなく、無人駅や有人駅だが1日当たりの平均的な利用者数が少ない駅の優れた事例を紹介します。

1) 移動円滑化経路



公共用通路がわかりやすいように路面をカラー舗装とし、歩車道境界を区画線にて表示しています。歩車分離の面では問題がありますが、安価な費用でわかりやすい公共用通路を形成しています。



照明灯ポールを保護するために囲いを設けているのですが、衝突の注意喚起のため蛍光テープも設けています。



線路と道路の交差点です。線路を保護する設備を道路負荷、鉄道負荷に耐えられる一体的なものにすることにより、平坦な構造となっています。



車いす使用者用の車寄せです。運転者が車いす使用者を降車補助するのにとても便利です。また、路面表示の矢印で、降車位置からの経路を案内しています。



公共交通機関の施設の出入口です。階段又は傾斜路に同一地点からアクセスできるようにすることで、利用する人の状況に応じた選択が可能です。



無人駅ですが、階段又は傾斜路に同一地点からアクセスできるようにすることで、利用する人の状況に応じた選択を可能としています。



駅の改札口からプラットフォームへ移動するには、線路を通過しなくてはならない場合が多いです。昇降機を設けるのが望ましいのですが、莫大な費用と維持費がかかります。そのため、通路と線路を平面交差にしています。平面交差は危険という意見もありますが、遮断機を設けて歩行者等を制御しています。通路には視覚障害者誘導用ブロックを設けています。

